



# 地震国・日本 ～これまでの地震被害～

日本では、過去にも大規模な地震が多く発生しており、建築物などに甚大な被害を及ぼしています。

## 日本で発生した自然災害(抜粋)

年月日・災害名	死者・行方不明者
1923年(大正12年)9月1日 関東大震災(M7.9)	約105,000人
1948年(昭和23年)6月28日 福井地震(M7.1)	3,769人
1968年(昭和43年)5月16日 十勝沖地震(M7.9)	52人
1978年(昭和53年)6月12日 宮城県沖地震(M7.4)	28人
1995年(平成7年)1月17日 阪神・淡路大地震(M7.3)	6,437人
2004年(平成16年)10月23日 新潟県中越地震(M6.8)	68人
2007年(平成19年)7月16日 新潟県中越沖地震(M6.8)	15人
2008年(平成20年)6月14日 岩手・宮城内陸地震(M7.2)	23人
2011年(平成23年)3月11日 東北太平洋沖地震(M9.0)	約20,000人
2016年(平成28年)4月14日、4月16日 平成28年熊本地震(M6.5、M7.3)	161人
2016年(平成28年)10月21日 鳥取県中部の地震(M6.6)	0人

### ○ 阪神・淡路大震災(兵庫県南部地震)(M7.3)

1995年(平成7年)1月17日午前5時46分に兵庫県南部地震(マグニチュード7.3)が発生しました。死者6,433人(うち8割以上が家屋の倒壊による圧死・窒息死)全壊家屋約10万棟、半壊家屋約15万棟で旧耐震基準の建物に被害が集中しました。埋立地では、液状化が発生しました。



写真提供:(財)消防科学総合センター

### ○ 東日本大震災(東北太平洋沖地震)(M9.0)

日本列島にいつどこに来てもおかしくない地震が、2011年(平成23年)3月11日午後2時46分、東日本を襲った、東北地方太平洋沖地震(マグニチュード9.0)です。巨大地震は東北から関東までの大地を大きく揺れ動かし、その後に途轍もない大きな津波を引き起こしました。この津波は、万を超える人々を海の底へ飲み込んでしまいました。

東京都心でもマンションや高層建物がギシギシ音を立てながらねじれてゆれていました。



写真提供:NPO法人 耐震総合安全機構

### ○ 平成28年熊本地震(M6.5、M7.3)

2016年(平成28年)年4月14日午後9時26分と4月16日午前1時25分に、相次いで震度7を観測した平成28年熊本地震(マグニチュード6.5(前震)、7.3(本震))が発生しました。一連の地震活動の中で震度7が2回発生したのは観測史上初めてでした。旧耐震基準による建築物に加え、新耐震基準の在来軸組工法の木造住宅のうち、接合部等の規定が明確化された2000年(平成12年)5月31日以前に建築されたものについても倒壊等の被害が見られました。

